

2019年04月15日

【格付維持】

香港

外貨建発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]
自国通貨建発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]
外貨建短期債務： a-1+
自国通貨建短期債務： a-1+

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

高度なビジネスインフラを備え、中国経済を後背地に持つ東アジアの貿易・金融拠点として経済基盤は底堅い。自由な経済環境を支えている「一国二制度」に大きな綻びはみられない。米中貿易摩擦の影響を受け経済成長は減速が続くが、中期的なトレンドに懸念はない。財政は盤石で、フロー・ストックとも対外面での強みも保持されており、為替の減価圧力にも十分に対応できる。これらを踏まえ外貨建及び自国通貨建発行体格付を維持した。

2018年の実質国内総生産(GDP)成長率は3.0%と、2017年の3.8%から減速した。米中貿易摩擦に絡む不確実性や世界経済の軟化、国内資産価格の調整などを背景に、香港政府は2019年に2-3%と一段の減速を見込む。現段階でR&Iは中期財政見通しにおけるトレンド成長率の仮定(3.0%)の見直しが必要とはみていない。インフレ、労働市場環境も安定的な推移が期待できる。

香港経済の主要な後ろ盾である中国には、金融リスクや米中貿易摩擦などの火種がくすぶる。他方、中国経済のサービス化の進展やベイエリアにおける地域連合構想は、香港にとって中長期的な発展機会となり得る。こうした過渡期を乗り越え、香港経済の安定成長が続くか注目していく。

政府による住宅供給の増加や金利環境の変化などを背景に、2018年後半から域内の不動産価格は調整局面にある。ただ2019年1月には価格が持ち直しており、米中貿易摩擦の激化懸念による一時的な影響だった可能性もある。対外環境の不透明感が低下すれば、再び上昇に転じてもおおかしくない。以前と比べて需給バランスは改善されてきており、極端な価格変動は起きにくくなっている。

財政は黒字が続いていることに加え、過去の黒字の積み立てである財政準備金が厚いバッファになっており盤石だ。GDP比でみた債務残高も数%に過ぎない。2018年度(2018年4月~2019年3月)は不動産関連費目が予算での見積もりを下回ったが、財政収支は587億香港ドル(香港政府発表値、GDP比2.1%)と当初予算を上回る黒字となったもようだ。2019年度予算では168億香港ドル(GDP比約0.6%)の黒字を見込む。

經常収支はかつてのような多額の黒字ではないが、今後も赤字に転じる可能性は小さい。国際投資ポジションでみるとGDPの数倍の対外純資産を持っており、金融環境の変化に対する耐性は高い。為替は固定相場(連動相場制: Linked Exchange Rate System)の変動許容圏の下限(weak-side Convertibility Undertaking)に近付いているが、対外面が香港経済のリスク要因となる懸念はない。

中国本土との関係では基本的に経済面での実利を優先する傾向がある。社会的領域で強まる北京の中央政府の影響を背景に、香港市民の民意と行政の実情が乖離しかねないとR&Iはみており、今後も注意を要する。現時点では香港経済の基礎を成す一国二制度に綻びが出る懸念はなく、信用力に影響を及ぼす可能性は低いと判断している。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

【格付対象】
発行者：香港

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	AA+（維持）	安定的
自国通貨建発行体格付	AA+（維持）	安定的

名称	格付
外貨建短期債務	a-1+（維持）
自国通貨建短期債務	a-1+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 **格付投資情報センター** 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	関口 健爾
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年04月08日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2018.02.20]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	香港
-------	----

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 政府を含む公的機関が作成した財政・経済資料
品質確保のための措置 政府を含む公的機関が作成した、またはそれに準じた信頼性が確保されている資料であること。

情報提供者 —

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

信用格付に関わる留意事項

当該信用格付は、格付関係者からの依頼によるものではありません。

格付関係者から信用評価に重要な影響を及ぼす非公開情報は入手していません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。